

着任しました

1月着任の医師紹介

- ①専門 ②卒業大学、卒年 ③出身
- ④血液型 ⑤コメント



いまむら よしき

今村 良樹 [消化器内科]

①消化器 ②関西医科大学、平成22年卒
 ③愛媛県 四国中央市 ④O型 ⑤はじめまして。3年目から愛媛に帰ってきました。大学でテニスをしていましたが、また体を動かしたいと考えています。これからよろしくお願いします。

地域連携だより

Vol. 11

お問合せ 地域連携室 三谷、岡田、加藤 / 直通電話：089-913-0081

メール：syoukai@matsuyama-shimin-hsp.or.jp

ケース①：A病院

☆70歳代・糖尿病の既往歴あり
 スクリーニング目的で上部内視鏡検査を行い早期胃癌の診断。内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）目的で当院へ紹介となる。

入院1日目：ESDを実施

入院4日目：経過観察のために上部内視鏡検査を行うが異常所見なし

入院10日目：退院

以後は紹介元の医療機関にてフォロー中。

ケース②：B病院

☆80歳代・胃ろう造設後、施設入所中
 嘔吐、発熱にて抗生剤投与を行うも、改善がみられないため加療目的で当院へ紹介となる。

入院1日目：経皮経肝胆囊ドレナージ（PTGBD）を留置し、絶食で抗生剤の投与開始。胆汁の排出もあり、血液検査も改善傾向のため経過観察となる

入院8日目：経管栄養再開

入院18日目：PTGBD 抜去

入院28日目：経過良好にてB病院に転院

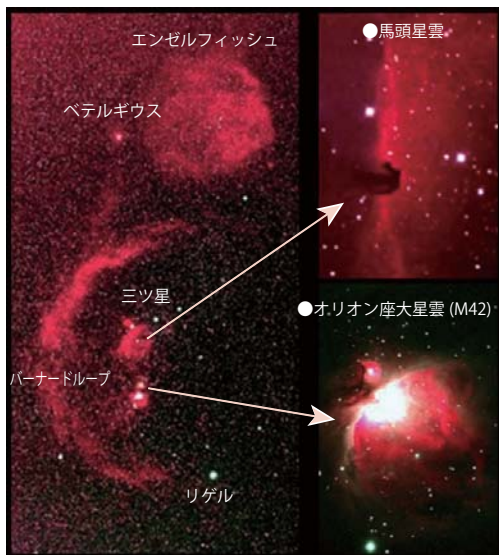
今回は、地域連携システムを活用した2つの入院症例についてご報告いたします。

どちらも、来院時に本人や家族に地域連携システムの説明をし、同意を得て紹介元の医療機関にバーコードを発行しました。紹介元の先生からは、担当医からの返書以外に当院の血液検査の結果や各種画像・検査所見を閲覧でき、経過を把握するのに役立つとお声をいただいております。

脳血管疾患や外科疾患等の患者さんや外来患者さんについても同様に検査結果をご覧いただけます。まだ導入されていない先生方も是非ご検討ください。当システムに関してご意見・ご要望などございましたら、お気軽にご連絡ください。

(地域連携室 岡田 浩之)

天体シリーズ Vol.2 “有形無形”



星とタンポポ

青いお空のそこ深く
 海の小石のそのように
 夜がくるまで沈んでる
 星のお星は目に見えぬ
 見えぬけれどもあるんだよ
 見えぬものでもあるんだよ
 ……

(金子みすず詩集より抜粋)

オリオン座 “見えぬけれどもあるんだよ”

冬の南天の夜空に堂々と鎮座し、光り輝くオリオン座です(左)。でも、皆さんが肉眼で見ているのとは随分違いますね。

実は銀河系の多くの散光星雲は肉眼では見えない赤外線領域の赤い光で輝いているのです。これを撮影するためには赤外線カットフィルターを取り外した天体用改造1眼レフ・デジカメとHα光を選択的に透すフィルターが必要となります。それらを用い市内の自宅から撮影してみました。

真赤に輝くエンゼルフィッシュやC字型を描くハーナードループ、三ツ星近傍の馬頭星雲(暗黒星雲が馬頭に類似)や全天で最も美しいオリオン座大星雲(M42)が見えてきました。“金子みすず”のあの詩の世界のようです。

(写真・文 / 神経内科:山下 順章)

お知らせ

INFORMATION



院内感染防止対策委員会より

最近、ニュースなどでよく耳にする「院内感染」。病院はたくさんの病気が集まり、さまざまな細菌が存在します。そのため免疫が低下した患者さんが感染しやすいというリスクが潜んでいます。

当院では、患者さんをはじめ職員がこうした感染症にかかることなく、安心して病気の治療に専念できるように「感染対策チーム(ICT)」を組み、力をあわせて院内感染対策に取り組んでいます。

この時期気を付けて頂きたいのは、インフルエンザ・感染性胃腸炎です。当院では、発熱・呼吸器症状のある方、嘔吐・下痢の症状のある方にはマスクの着用をいただいています。病院内のトイレ・手すり等の清掃を次亜塩素酸に変更し、清掃回数も増やしています。職員に対しては、院内LANを活用し、流行の動向や、注意喚起を促すお知らせを行っています。院内で発生した際はすぐに駆けつけ、早期に収束できるよう活動しています。

今年度より、地域医療機関との連携による、感染対策に関する情報交換を開始し、常に最新情報も取り入れながら、質の高い、効果的な院内感染対策の実施を目指しています。感染対策についての疑問や質問などありましたら、お気軽にご相談ください。

(感染管理看護師 篠崎 知津)